

共に学び、未来に向かって
～新生・関谷小学校開校式～



旧関谷小学校と旧金沢小学校が統合して生まれた、新生「関谷小学校」の開校式が4月23日開催されました。

新生関谷小学校の児童は158人。この日は子どもたちのほか保護者や関係者が参加。石川文保校長が「関谷、金沢両校の豊かな教育文化を基盤とし、良いところは積極的に取り入れ、子どもたちが夢を抱き、生き生きと生活できる学校にしていく」とあいさつ。

また、児童を代表して6年生の佐藤優羽さんと伊藤碧君が「共に学ぶ」を合言葉にみんなで力を合わせ、勉強や運動に励んでいきたい」と抱負を述べると、会場からは大きな拍手が送られました。

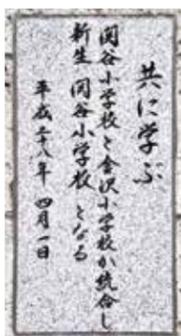
子どもたちはすでにみんな打ち解けあっていて、校内には元気な声が満ちていました。



式典後のアトラクション。県警音楽隊との楽しいひととき。



自ら志願して代表となった、旧金沢小・関谷小出身の2人。



校門に設置された石版。子どもたちだけでなく、それぞれの地域がともに手を取り合い、協力していく「みんなの学校」の意味も込められています。



保育士さんって大変！
～お母さんたちの保育士体験～

市内各保育園で実施されている保育参加。お母さんやお父さんが保育士体験をし、家庭と保育園がお互いの状況を理解し合うことが目的です。5月19日、ひがしなす保育園で保育参加を行った八木澤さんは、「自分の子どもの面倒を見るだけでも大変なのに、こんなにたくさんの子どもたちを毎日相手にしているなんて、保育士さんって本当にすごいなって思います」と体験を振り返りました。子どもたちにとっては、お母さん先生と遊ぶことができてとても嬉しい1日になりました。



FUN! FUN! English!
～新設カリキュラムで英語活動～

市では、コミュニケーション力育成を重視した「那須塩原市小中一貫英語教育カリキュラム」を2年かけて作成。4月よりそれを使用し、市内の小・中学校で英語教育を実施しています。4月25日、研究校に指定された大山小学校の4年2組で、本カリキュラムによる授業を行いました。授業のめあては「自分の考えを伝えよう」。子どもたちはお互いの考えを伝え合う面白さを存分に感じた様子。英語活動＝楽しい！が英語によるコミュニケーション力を身に付ける第一歩になることなのでしょう。

子育てに悩んだら行ってみよう！（7月）

育児相談

育児の不安、1人で悩まないで。
お話しにきませんか。

保健師や栄養士などによる相談を行っています。
お気軽にお越しください。

	とき	ところ
5日(火)	午前9時30分～11時	黒磯保健センター
14日(木)	午後1時30分～3時	西那須野保健センター

※西那須野保健センターは事前の申し込みが必要です。

母親学級

お母さんになるための準備、
みんなで一緒にしましょう！

妊婦さん同士の話し合いや体験学習をします。
ママ友づくりの場にもなっていますよ！

	とき	ところ
7日(休)	午後1時30分～3時	西那須野保健センター

テーマは、「ママと家族の健康づくり」！ 家族の人(お父さんになる人)も、ぜひ一緒に参加してください。
※予約制になりますので事前にお申し込みください。

問い合わせは
○黒磯保健センター
☎0287(63)1100
○西那須野保健センター
☎0287(38)1356



子育てサロンのすすめ

新しい子育てサロンができました

- ▶ところ 東那須野公民館 多目的ホール
- ▶とき 初回は6月29日(休) 月1回開催
7月以降の日程はHPで確認できます。



その他サロンの
開催日はこちら！

子どもと2人きりでこもりがち。
誰かと話したい…。
そんな時は子育てサロンに来てみませんか？



☆子育てサロンのおすすめポイント☆

- ・ママ友ができる！
- ・ベテランのスタッフが一緒に面倒を見てくれる！
- ・スタッフやママ友と悩みを共有できる！
- ・遊び道具が豊富！
- ・子どももママもリフレッシュ！

▶問い合わせ
関子ども・子育て総合センター ☎0287(46)5537

育児ママヘインタビュー！



インタビューに協力してくれた
武田 紘美さん
凛ちゃん(4歳)
士くん(0歳)

一昨年3月に千葉県から那須塩原市にUターンしてきた武田紘美さんにお話を伺いました。

Q なぜ那須塩原市に戻ろうと思った？

A 夫は仕事で忙しく、1人での子育てに限界を感じたからです。実家が那須塩原市なので、いざという時に頼れる人が近くにいることが嬉しかった。

Q 限界を感じたのはなぜ？

A このままだと娘を叩いてしまうと思って、別の部屋に閉じこもった時がありました。今振り返ると、気付かないうちにストレスが溜まっていたんだと思います。戻ってからは、実家の協力もあり、体にも心にも余裕ができました。子どもと離れる時間をうまく作るのも大切なんだと感じています。

Q 将来のパパ・ママにアドバイス

A 頑張りすぎないこと。頼れる人にきちんと頼ること。自分自身のリフレッシュを忘れないこと。あと実家の近くがオススメ(笑)大好きな子どもたちと笑顔で向き合うためにも、心に余裕を持つようにしています。

とても穏やかな様子の紘美さん。凛ちゃん、士くんもパパ・ママの愛情をたっぷり受け、元気いっぱい過ぎていてくれるようです。

※インタビューコーナーに出てくれる、子育てに奮闘中のママ(パパ)さんを募集中♪

お問い合わせ
関子育て推進課
☎0287(62)7109